

新刊書案内



www.nankodo.co.jp

目指せ！できるレジデント！



はじめての 脳波トリアージ 2ステップで意識障害に強くなる

著 音成秀一郎

B5判・226頁 2024.2.

ISBN978-4-524-23272-7

定価 **6,380** 円 (本体 5,800 円 + 税 10%)

一見すると難しく、専門医の検査と思われがちな脳波について、チェックするポイントを2つだけに絞り、緊急性のある脳波のパターンを拾い上げて即座に治療方針を決める2ステップの判読法＝「脳波のトリアージ」をスッキリ学べる入門書。Antaa Slide Award 2021を受賞した著者が、背景活動×てんかん性の所見で脳波を切り分け、意識障害の鑑別を最速化する鑑別のコツを伝授。

選りすぐりの良問を紹介



神経内科専門医試験問題 解答と解説

<第2集>

編 日本神経学会

B5判・212頁 2024.2.

ISBN978-4-524-20427-4

定価 **5,500** 円 (本体 5,000 円 + 税 10%)

日本神経学会編集による神経内科専門医試験の過去問題集の第2弾。第2集では、2016～2020年に出題された5年分の問題から約170題を選出し、各設問の解答と解説を示す。第1集と同様、神経内科診療に携わる医師の専門知識の維持・向上にも役立つのはもちろん、神経内科医以外の内科医、特に内科専門医試験を目指す内科医の勉強にも有用な一冊。

年々進歩するがん薬物療法の知識のアップデートに



新臨床腫瘍学

改訂第7版

編 日本臨床腫瘍学会

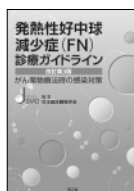
B5判・816頁 2024.2.

ISBN978-4-524-20426-7

定価 **17,600** 円 (本体 16,000 円 + 税 10%)

がん薬物療法を行う上で知っておくべき知識を網羅した、日本臨床腫瘍学会編集による専門医テキストの改訂第7版。各がん種・薬剤の要点を掲載し、基礎から実践までを幅広く解説。がん種別の標準治療のアップデートや新規薬剤の追加のほか、コンパニオン診断、ゲノム薬理学、CAR-T、患者-医療者コミュニケーションの項目を新設するなど、この3年で確立した知見を盛り込んだ。専門医を目指す人だけでなく、がん診療に携わる全ての医療者必携の書。

日本臨床腫瘍学会編集によるガイドラインの改訂版



発熱性好中球減少症(FN) 診療ガイドライン 改訂第3版 がん薬物療法時の感染対策

編 日本臨床腫瘍学会

B5判・124頁 2024.2.

ISBN978-4-524-23376-2

定価 **2,750** 円 (本体 2,500 円 + 税 10%)

日本医療機能評価機構「Minds 診療ガイドライン作成の手引き2020」に準拠し全面改訂を行った。造血器腫瘍・固形腫瘍の薬物療法の副作用として起こる発熱性好中球減少症(FN)は、対応が遅れると致死的な状況に陥ることもあり、がん診療に携わる医師・スタッフは適切な対応を知っておく必要がある。評価、治療、予防の3章に分け、各章「解説(総論)+CQ」という構成で解説。

がん病態栄養専門管理栄養士のバイブル



がん病態栄養専門管理栄養士のための がん栄養療法 ガイドブック 2024

改訂第3版

編 日本病態栄養学会

B5判・264頁 2024.2.

ISBN978-4-524-20473-1

定価 **4,400** 円 (本体 4,000 円 + 税 10%)

日本病態栄養学会による「がん病態栄養専門管理栄養士」認定試験テキストの改訂第3版。学会主催のセミナーで使用されており、試験範囲に準拠。がんの一般知識から最新の知見までカバーしており、がん患者に対する栄養管理・栄養療法、さらには論文の書き方までを分かりやすくまとめた。がん病態栄養専門管理栄養士の資格取得者や資格取得を目指す管理栄養士はもちろん、がん診療に携わる医師・看護師などにも役立つ一冊。

がん薬物療法に関わる全医療スタッフ必携



NTT 東日本関東病院流 外来がん薬物療法を 支えるチーム医療 各職種・部門の取り組みから 多職種連携の実際まで

編 NTT 東日本関東病院 外来化学療法センター、
メディカルオンコロジーセンター

B5判・168頁 2024.2.

ISBN978-4-524-20477-9

定価 **3,960** 円 (本体 3,600 円 + 税 10%)

NTT 東日本関東病院で実践している、外来がん薬物療法における多職種チーム医療が丸ごと学べる一冊！患者・家族に必要な各職種のアプローチを解説したうえで、代表的な有害事象に対して多職種が実際にどのように連携していくか、症例を挙げてチャートで提示。外来がん薬物療法を支える具体的な対応が実感をもって身につく。